



【実技適性試験・芸術学部】

○鉛筆デッサン

内容	<p>用意されたモチーフ（静物）を鉛筆により描写する。</p> <p>【参考：2023 年度の内容（静物）】 〈所要時間 90 分〉 与えられたモチーフを台上に配置し描写しなさい。また試験時間内に、モチーフを配置した意図（100 字程度）を所定用紙に記入しなさい。 モチーフ：果物、ティッシュボックス ※ 鉛筆デッサン用具一式を持参すること（デッサンスケールやはかり棒などは使用可） ※ 画用紙画面は縦横どちらでも可。画用紙八つ切（272×393mm）本学で用意。 ※ モチーフは、1 人に 1 セットずつ配布。 ※ 必要があれば、モチーフは加工してもよい。 ■ 出題モチーフの写真 [例]（日替わり）</p> 
----	--

○作品審査

内容	<p>①受験生自身が制作した作品を持参（絵画、イラスト、立体、デザイン、工芸、漫画、アニメーション、映像など） ②作品に関する口述試験（3 分間のプレゼンテーションと、質疑応答。合計 10 分間） ※ 作品は、主に視覚芸術作品を対象とする。音響効果を加えた作品も可。 ※ 実作品を持参せずに、ポートフォリオ（形式は任意）での提示も可。 ※ 電子機器（タブレットやノートパソコン）が必要な場合は、各自で持参する。 ※ 作品数は 5 点までとする。 ■ 「作品審査」口述試験の参考例</p> 
----	---